

色弱模擬フィルタ「バリエントール」にルーペ型登場

Variantor™ pancake

パンケーキ



2008
5.20
発売予定

希望小売価格

19,500円(税込)

携帯できる、会議でも外出先でも
さりげなくチェック。

色弱の方の色の見分けにくさを、その場で体験できます。

色弱模擬フィルタ「Variantor™ pancake (パンケーキ)」は、色弱者の色の見分けにくさを一般色覚者が体験できるようにしたルーペ型特殊フィルタです。開いて見る、それだけで手軽に簡単に確認することができます。あなたもきっとカラーユニバーサルデザインの必要性に気付くはずです。



※総アルミ削り出し仕様



「バリエントール」はNPO法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)によって「カラーユニバーサルデザイン・支援ツール」として認定されています。

あらゆる場面で活用できます

- 製品開発 自動車・電化製品・生活用品・文具 など
- 宣伝・広告 TVCM*・ポスター・webコンテンツ* など
- 印刷・出版 カタログ・パッケージ・教材・雑誌 など
- 街づくり サイン・標識・施設内の案内表示 など

[注意]

●本製品は色弱を治療するものではありません ●使用中、乗物又は機械類の運転操作をしないでください ●使用に際しては、説明書をよくお読みください ※CRTや液晶ディスプレイ、LED光源にはお使いいただけない場合があります

NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)の提唱する呼称に従い、「色覚正常」を「一般色覚」、残りは色認識に弱い点があることから「色弱」と呼んでいます

製造・開発・販売元：伊藤光学工業株式会社

販売代理：大平印刷株式会社

〒600-8881 京都市下京区西七条掛越町55 TEL:075-313-9601 FAX:075-315-4994

ITOHO Variantor™



色弱模擬フィルタ「バリエントール」

希望小売価格 34,500円(税込)

ご購入・お問い合わせは <http://www.variantor.com/>

バリエントールの特徴

1 一般色覚者が使用する カラーユニバーサルデザインツールです。

色弱者の色の見分けにくさを一般色覚者が体験できるようにしたメガネ型特殊フィルタです。見分けにくい色づかひに気付くことが、カラーユニバーサルデザインへの第一歩です。



一般色覚者



フィルタによる色弱模擬

2 かけて見る、それだけで リアルタイムに配色チェックできます。

パソコンや特別なソフトウェア、カメラ等は必要ありません。かけて見るだけで色弱者の見分けにくい配色を探し出すことができます。



3 世界初の色弱模擬フィルタです。

産学共同開発プロジェクトによる世界初の色弱模擬フィルタです。豊橋技術科学大学 中内研究室で設計したフィルタ分光特性を、伊藤光学工業株式会社光学フィルタとして実現し、高知工科大学 篠森研究室が評価を行いました。



▲ 色弱模擬フィルタ開発メンバー

国際会議 (European Conference on Visual Perception, ECVP, 2006, St. Petersburg, Russia) での発表風景 ▶



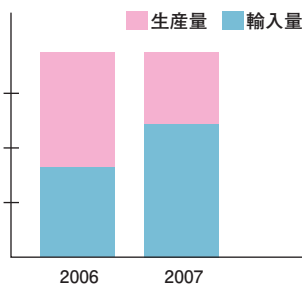
カラーユニバーサルデザインの必要性

＜色覚のタイプによる色の見え方＞



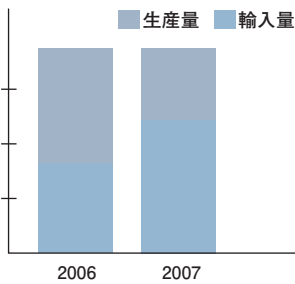
上の図は、色覚のタイプ別に、それぞれの色がどのように見えているかを示しています。P型・D型の方は赤と緑が、ほぼ同じ色に見えていることがわかります。日本では男性の20人に1人、女性の500人に1人 (全国で約300万人) が色弱者で、世界では約2億人を超え、血液型がAB型の男性の数に匹敵します。

バリエントールの活用事例



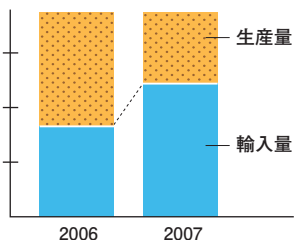
1. いつもと同じように デザインしてみましょう。

ピンクと水色で配色した、グラフがあります。一般色覚者が見ても特に問題はないように思えます。



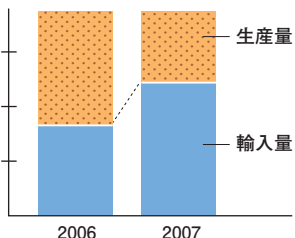
2. バリエントールをかけて 確認してみましょう。

ピンクと水色が同じような色に見え、見分けが付きにくいことに気付くことができます。凡例とグラフも色だけでは照合できないことがわかります。



3. 色や形を 工夫してみましょう。

見分けやすい色を選び直し、さらにパターンも加え、色の境界を白線で区別します。凡例は図の脇につけず図中に直接書き込みました。



4. 再度、バリエントールで 確認してみましょう。

色の見分けもつき、情報が伝わるようになりましたね。さあ、あなたもカラーユニバーサルデザインをはじめませんか？